

青少年赤十字提供プログラム

～夏休みを安全に過ごすために～

海やプール、旅行、キャンプ・・・子供たちには楽しいことがいっぱいの夏休み。また、部活動など、炎天下のグラウンドや高温の体育館で過ごす時間も多くなります。

そんな夏休みを安全に過ごすために、生徒はもちろんのこと先生方や父兄の皆さまの健康・安全プログラムへの参加も多くみられるようになり、心肺蘇生法やAEDに関心を持っていただくことができました。同時に「熱中症に関するお話しをしてほしい」という要望も増え、健康管理への意識の高まりも感じられます。

7月も健康・安全プログラムを始め、防災教育として東日本大震災での活動の話、福祉教育の点字講習では声の図書赤十字奉仕団の方にも協力いただきました。



行事名	場	所
健康・安全	淡路市立山田小学校	兵庫県立三田祥雲館高等学校
	福崎町立八千種小学校	兵庫県立西宮今津高等学校
	篠山市立城南小学校	兵庫県立相生高等学校
	宝塚市立美座小学校	兵庫県立高砂南高等学校
	神戸市立桜ノ宮中学校	兵庫県立神戸北高等学校
	三田市立けやき台中学校	兵庫県立国際高等学校
	宝塚市立宝梅中学校	兵庫県立須磨東高等学校
	兵庫県立網干高等学校	兵庫県立舞子高等学校
	兵庫県立明石高等学校	兵庫県立兵庫高等学校
	兵庫県立尼崎高等学校	※救急法短期講習も含む。
防災教育	赤穂市立赤穂中学校	兵庫県立上郡高等学校
福祉教育	高砂市立伊保小学校	

※7月号で掲載しました健康安全プログラムを行った学校名に「神戸市立大沢小学校」とありましたが、正しくは「神戸市立大沢中学校」です。訂正してお詫言申し上げます。

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

内容	開催日
救急法基礎講習	10月1日(土)
救急法救急員養成講習	11月12日(土)・13日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習)	10月8日(土)・9日(日)・10日(月祝)
	11月3日(木祝)・5日(土)・6日(日)
	11月26日(土)・27日(日)・12月3日(土)
健康生活支援講習	9月24日(土)・25日(日)・10月1日(土)
幼児安全法支援員養成講習	10月5日(水)・12日(水)・19日(水)

- 開催場所は、いずれも日本赤十字社兵庫県支部です。
詳細及びその他の講習についてはホームページ <http://www.hyogo.jrc.or.jp/> まで

～ぼくたち、わたしたちにできること、誰かの力になれること～ 赤十字活動推進ポスターコンクール

今年も兵庫県内の小・中・高校生を対象に「赤十字活動推進ポスターコンクール」を開催します。

今年は東日本大震災や台風6号など、日本を大きな自然災害が襲いました。赤十字は災害が起きると被災者の方々の安全と安心を守るために、被災地へ向かいます。でも、赤十字の活動はそれだけではありません。皆さんが知っている「赤十字」を、この夏休みに絵にしてみませんか？

応募要領は日本赤十字社兵庫県支部のホームページで検索してください。たくさんのご応募、お待ちしております。

<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

赤十字兵庫 検索



平成22年度 最優秀賞
宝塚市立山手台小学校 松田豊青さん

ひょうごの 赤十字

2011 8月1日



Contents

特集

第45回兵庫県日赤有功会総会 地区赤十字奉仕団委員長会

- 赤十字防災ボランティア実践研修会
- ～すべては被災者のために！～日赤DMAT研修会
- それぞれの七夕～短冊に願いを込めて～

- 青少年赤十字提供プログラム
～夏休みを安全に過ごすために～
- 講習のご案内
- 赤十字活動推進ポスターコンクール

 **日本赤十字社** 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
tel. 078-241-9889 fax.078-241-6990
URL <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>





第45回兵庫県日赤有功会総会

6月29日、ANAクラウンプラザ神戸で有功会員63人等の参加により「第45回兵庫県日赤有功会総会」が開催されました。

栢尾会長からの挨拶、来賓を代表して日赤兵庫支部久保副支部長からの祝辞に続き、協議事項である平成22年度事業・決算、平成23年度事業計画・予算がそれぞれ審議されて、承認されました。

続いて、仲間づくり運動に功労のあった3人の方々に感謝状が贈呈されました。今年度14人が該当されている米寿のお祝いには、出席された4人に会長からお祝いが手渡されました。

また、当総会が45回を迎えるにあたり、記念事業として有功会在籍30年以上の個人・法人・団体の47会員の皆さまを対象に、永年会員感謝状の贈呈があり、代表として木村智恵理事に感謝状と記念品が贈呈されました。

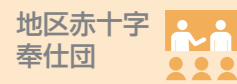
特別報告として、東田事務局長から「東日本大震災にかかる兵庫県支部の救護活動等について」の報告があり、新聞やテレビよりも身近に感じられる被災地の情報に、会員のみなさんは熱心に耳を傾けられていました。



永年会員感謝状を受ける
木村智恵さん



お元氣な米寿のお祝いは4人出席いただきました



地区赤十字奉仕団委員長会

7月22日、ひょうご女性交流館で、地区赤十字奉仕団委員長等31人と地区担当者22人が出席し、地区赤十字奉仕団委員長会を開催しました。

開会に先立ち、兵庫県赤十字奉仕団北野委員長、兵庫県支部東田事務局長の挨拶があり、協議に移りました。

まず、平成22年度事業報告がありました。続いて、平成23年度のモデル奉仕団についての協議が行なわれました。

モデル奉仕団は、地域赤十字奉仕団のモデルとなる重点奉仕活動（地域防災や青少年赤十字の普及、育成に関すること。また、高齢者、子育て支援に関すること）を積極的に行うこととして指定される奉仕団のことです。この委員長会では、尼崎市、高砂市赤十字奉仕団が指定されました。

東日本大震災を教訓に今後起こりうる東南海地震を想定し、地域住民との協力で減災活動を行うなど、各奉仕団の特色ある活発な奉仕活動に期待します。

また、年度内に5回の地域赤十字奉仕団員研修会の開催を予定し、団員の赤十字活動への更なる理解と、今後の奉仕団活動の向上と充実を図るための知識を身につけていくことも承認されました。



ひょうご女性交流館5階、会議室にて



赤十字防災ボランティア実践研修会

～災害時に赤十字のボランティアとしてできること～

7月10日、兵庫県支部で、赤十字防災ボランティア42人が参加して「赤十字防災ボランティア実践研修会」を開催しました。

赤十字防災ボランティアの中島リーダーから「防災ボランティア」についての講義の後、災害時のボランティアセンターの運用研修、テントの建て方や炊き出し等の実技研修を行いました。

最後に兵庫県支部の角谷奉仕課長が「東日本大震災における兵庫県支部の救護活動について」の報告を行いました。

参加した防災ボランティアの皆さんは、今回の研修と東日本大震災での教訓を生かし、今後発生が予想される東南海地震の備えとして、自分たちがどうするべきかを考え、積極的に研修に取り組んでいました。



炊出しも協力しあって手際よく



～すべては被災者のために！～ 日赤DMAT研修会



机上シュミレーションは皆で意見を出し合って…

7月16日から18日までの3日間、兵庫県支部を会場として「平成23年度第1回日赤DMAT研修会」が、西日本で初めて日本赤十字社本社の主催で開催されました。

この研修会は、災害発生直後の超急性期に、日本赤十字社の救護班が迅速に被災地へ出向き、医療救護活動を行うために必要となる様々な知識を習得することに加え、現場での判断力や、医師、看護師、主事など各救護員のチームでの役割などを身につけることを目的に開催。

北は秋田県支部から南は大分県支部までの16支部から、医師、看護師など80名が参加しました。

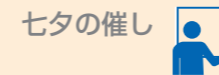
「すべては被災者のために！」を合言葉に、超急性期の救護活動をどのように展開していくかについて、講義やグループワークでの討議、机上シミュレーションを行いました。

総合実習として、支部の向かいにある「なぎさ公園」でエアータントによる現場救護所を設置。太陽の照りつける猛暑の中、傷病者の救護活動を行いました。

被災者の皆さんの健康と安全を守るために、日本赤十字社は災害における超急性期から復興期、慢性期までの長きに渡り、息の長い活動が行えるよう、救護要員のスキルアップのために訓練や研修を重ねています。

※ DMAT とは …

Disaster Medical Assistance Team の略で、「災害派遣医療チーム」のこと。災害発生直後に、災害現場での医療、広域搬送、病院支援などを行なう医療チーム。



それぞれの七夕 ～短冊に願いを込めて～

兵庫県内の各病院では七夕にちなんだ催しを行い、患者さんたちと一緒に夏のひとときを過ごしました。

7月6日、神戸赤十字病院では「ハンドベル七夕コンサート」を開催。会場となった病院ロビーには、願い事の書かれた短冊でいっぱいの笹が飾られ、涼しげなハンドベルの音色に患者さんたちはこころも体も癒されているようでした。

7月7日には姫路赤十字病院で、姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団の小児病棟班が「七夕会」を行いました。看護学生が用意したおもちゃや劇に子供たちから笑顔がこぼれました。星型の短冊に込めたみんなの願い事、叶いますように。

7月15日、多可赤十字病院では老人保健施設で七夕にちなんだイベントが、また7月22日は柏原赤十字病院で病院ボランティアによる「夏の夕べ」が開催されました。

入院生活を送る患者さんたちに、少しでも明るい気持ちになっていただけるようにと、それぞれの病院での優しい気持ちの込められた手作りの七夕は、患者さんたちのこころにも届いたことでしょう。



美しいハンドベルの音色に酔いしれて…